

## 道州制に関する意見の例

(目次)	
道州制について（期待・メリット）	
スケールメリットに関する期待	・・・ 1
事務・権限の受け皿となることに関する期待	・・・ 3
その他	・・・ 3
道州制について（懸念・デメリット）	
アイデンティティ喪失に関する懸念	・・・ 4
広域化に関する懸念	・・・ 4
州都一極集中（県庁の廃止）に関する懸念	・・・ 5
効率化に関する懸念	・・・ 6
行政の重層化に関する懸念	・・・ 6
その他	
理念等	・・・ 7
道州制に関する条件	・・・ 8
「地方分権」「地域主権」について	・・・ 10
道州制論議の前に議論すべき事	・・・ 12
情報提供・議論喚起	・・・ 13
必要性	・・・ 13
手法	・・・ 14

## 【道州制について（期待・メリット）】

（スケールメリット）

- ① 広域行政にすることによって大きなことができる。都道府県の財政の問題もありますし、大分県だけでは財政的にできないことがたくさんあると思うんです。そういう中で道州制ということがあって、九州という広域行政にすることによって助け合うということとはできると思うんですが、地方分権、平成の大合併というのが前提にあると思うんです。
- ② 大分の一村一品のような形で九州で一つのブランドをつかって「九州の何々」という形でPRしていけばもっと具体的になるのではないのかなということ。経済的にも人材の育成においても九州が一体となって、地元大分だけを考えていくのではなくて、九州全体を考慮することでもっと明るい、極論を言えば独立国になる位に九州の力はあるのではないかと我々は考えていますし、地理的にも中国やアジアに近いので港湾や空港など運輸などがうまくいけばいいんじゃないかなと考えています。具体的に今年度から2015年までの間色々なことを実施して、本年度と来年度においては、九州ブランドを何か一つでも二つでもつucking外に発信していけたらなと思っています。
- ③ 日田市は県境です。福岡、熊本と接しております。林業、農業をやっている中で目に見えない県の壁を感じています。それは制度の壁であったり、販売の壁であったり、ただ、日田は大分県でありながら水は福岡に流れますし、文化も経済も福岡圏域になっていると思います。道州制になって、その圏域が取っ払われると、個人的には非常に自由になるなという気がしております。
- ④ 九州は独特な観光資源とか色々な資源が豊富であろうと思いますし、一つの国としてとらえた時に、道州制は前向きに考えていく価値があるなと個人的には考えています。
- ⑤ 一極集中をなくしたり、財政の効率化を図るというのは、これだけ国の借金があったらせざるを得ないのかなと思います。九州は九州王国ということで一つになれば、独自の貿易なども考えて、九州だけで国のGDPを押し上げるられるような施策をとれるのではないかなと思っています。
- ⑥ 先ほど日田の方が仕事面では県単位の枠を外してもらった方が仕事がしやすいと言っていましたが、我々にとっても同じことで、役所の仕事をとりとうとしたときに、大分県の仕事は取りやすいんですけども、宮崎県など他県の仕事は取りにくいという面はございます。経済面においては、県の垣根は要らないと思います（後略）

- ⑦ 道州制で県がなくなったとしても、事業を自助努力でしっかりとしておけば、デメリットが多少あったとしても立ち向かえるような強さを養えるようになると思うし、広い意味で自分のところのお菓子を九州として発信していくとか、もっと発展的な考え方をもてると思うんです。自分自身の事業でも、商工会のレベルで考えても道州制は決して悪いことではないと思います。
- ⑧ 九州は他の道州制区域の候補になっているところに比べるとブランド力があると思うんですね。それを前面に押し出してやっていくことだと思うんです。
- ⑨ 活力を得るために九州が一つにまとまるということが、ものすごく大きな活力を得ることになると思います。観光だけ考えても広域観光を考えて、熊本や宮崎と手を結べば、色々と誘致の方法はあるわけです。九州では力を持っている人が多いので、そういう人たちがまとまってやれば、ものすごく大きな力になると思います。
- ⑩ これだけ日本が世界的に力を持っている中、人口がどんどん減っていくということを考えると、中国ではないですが、国力イコール人の数というところもありますので、少ない人数の中で力をどうやって集中していくかを考えたときに、道州制は一つの手なのかと考えています。
- ⑪ 国のルールだとできないことを地方ならできるようにする、新しいことをしたいのであれば道州制を取り入れることもよいのではないかと思います。  
九州全体でCO2の削減量をバンドリングすることによって、CO2のクレジット化を含め、交渉ができるんじゃないかと考えています。具体的に言うと企業誘致を含めてCO2のクレジット化ということの可能性が道州制規模になればできるんじゃないかということを期待しております。
- ⑫ もう一つ子どもたちの教育という面では、九州ブロックの会議に出席すると教育委員会だったり、先生だったり、かなり地域間の温度差が激しいです。道州制といった大きな器の中で先生達も切磋琢磨してもらったり、大きな器で考えてもらおうと子どもたちもよその地域に行った時、とまどいもなく、競争力も持つのではなかろうかと思っています。
- ⑬ いずれにしても地域がもう少しスピード感のある行政がやっていける仕組みを考えていただきたいし、その為には道州制は、デメリットもありますが、デメリットがあるから駄目だということにはいかないと思いますし、この制度を出来るだけ早く進めていただきたいなと思います。

⑭ 良い面は口蹄疫の対策の事ですね。九州が一つだったら、出来る事も増えます。宮崎の時ももう少しできたことが増えたのではないかと思います。

⑮ 金融関係とか、情報関係とかの中で私達が色々な地域活動をしている中で、例えば、消費者被害も広域化していますので、ネットワークが広域で出来れば連携の可能性もあるし、環境面では低炭素社会の実現ということも、目標に近づくようにするには、やはり広域化して道州制になれば、可能性が増えていくのかなと。

(事務・権限の受け皿)

⑯ 私は出来るだけ早く道州制にして、地域に権限をあたえて、スピード感のある地域にあった行政が出来るようにやっていただきたいという事を申し上げたい。

(その他)

⑰ 大分は交通面が他の県に比べて、余り発達していないというのを思いまして、交通弱者、車を運転できない高齢者の移動手段がなくて住みにくくなっていると思いました。そういう問題を解決するには、大分の公共交通機関、バス、電車などをもっと活性化しなければいけないのかなと思いまして、それを活性化させるためにも道州制というものを導入して、もっと県外との交流、県外の交通機関の行き来を盛んにすることで、大分の中での交通機関をもっと発達させる必要があるのではないかと思います。そのためには、大分県だけで抱えるのは難しいので、道州制を導入して、様々な県と協力していくことが必要ではないかと思いました。

【道州制について（懸念・デメリット）】

（アイデンティティ喪失に関する懸念）

- ① 地域のアイデンティティをどうするかということが、やはり大きな課題ではないかと思えます。
- ② 道州制になって色んな施策ができるのはよいと思いますが、一方で地域のアイデンティティが混濁してしまって、私は何々県の間人だっという風に若い人に説明をしても、それが理解されない。ちょっと悲しいというようなことになるのでは、と思えます。
- ③ 個人としては、宇佐・安心院はブドウの産地で、県内では1位になれるので、道州制にならない方がいいと思うのですが、品種にもよりますし、畜産だったり、各県で持っているブランドをどうしていくのかという議論になっていくのかなと思えます。宇佐はぶどうは大分県1位ですし、柚子は西日本1位ですし、いちごも西日本一の面積を持っています。宇佐市は農業基盤の市だと思っていますが、それが九州のひとつの市になってしまうと、宇佐市の魅力というのは中々見えてこなくなる、曇ってしまうのではないかと思っています。

（広域化に関する懸念）

- ④ 九州全体というとうございしますので、地域コミュニティの構築といった部分が非常に難しくなるのではないかとこの部分が不安になります。
- ⑤ （旧町村単位での婦人会を例に）合併して大きくなるということは、良いことがある反面、小さな所で壊れていくものがとても多いなと実感しました。
- ⑥ 資料にある道州制導入のメリットとして、高度な医療体制の充実や大規模震災等の対応が都道府県を越えてできるのではないかとこの通りだと思ったのですが、その時に問題になるのは、一人暮らしの高齢者や妊婦の方とか、最初に救助しなければならぬ方を都道府県を越えてネットワークをつくる時にどう把握していくか、どの方を最初に救助すればよいかの住民の把握が結構難しくなるのではないかとこの思いました。
- ⑦ 県がなくなり州となると、かなり広い範囲の行政区域となり、はたして本当に州民のためになるのかということが不安材料になります。
- ⑧ もう一つは九州が州になるとどれくらいの予算を州で使うのかということが、ものす

ごく気になるわけです。単に県が合併しただけだったら意味がないような気がします。ほとんどの仕事は市町村にやった方がいいんじゃないかとそんな気がします。それと行政側が賃金の較差とか生活レベルの格差を本当に理解できていないんじゃないかという所があります。州になるにはその辺の所を真剣に検討していただいて、小さな九州政府をつくっていただかないと、とてつもない九州政府ができあがるかもしれません。

(州都一極集中(県庁の廃止)に関する懸念)

- ⑨ 仮に道州制になった時に州都がどこになるかというのは州都にならなかったところとの関係を考えますと非常に格差が大きくなるんです。それは北海道がよく示しているのではないかと思うんです。
- ⑩ やはり最終的には福岡が中心になって、大分は端の方になるんじゃないかなということが、とても気になっているんです。
- ⑪ 私ども商店街は商業だけではなくて、地域というものがあります。その地域の振興と少子高齢化に取組み、地域の文化を担っていくということを考えると、一概にこのような道州制がいいのかどうなのか、やはり福岡一極集中になる可能性があって、先程言われたように佐伯から見れば大分市は都会、でも福岡一極集中になって大分が九州でも田舎のような町になって、文化もなくなる、人もいなくなるようなことになるんじゃないかという不安が出てきました。
- ⑫ 道州制でどこに州都が置かれたとしても、そこにいろんなものが集まってしまうのであれば、市町村合併と議論が変わらないんじゃないかなと感じましたので子どもたちの教育とか、社会教育という部分では、もっともっと地方の方にそういう機会が広がる考え方や制度を一緒に考えていただきたいなど、そう感じました。
- ⑬ 県庁がなくなるということはどうなるのかというと、政治的中心性を失うことの影響が相当あるのではないかと思います。県庁がなくなった場合どうなるかということも考えなくてはならないと思っています。
- ⑭ 道州制でも、道州庁が大分にできればそれはありがたいことですが、もし、佐賀にでも持っていかれると、また大分県は情けないことになるのではないかと。
- ⑮ 県庁所在地などが人口が増えて周りが少なくなっていく。道州制になって州都が福岡になったら、大分県はそういう風になっていくのではないかと、さらに地元の宇佐市はもっと深刻になっていくのではないかという懸念があります。

(効率化に関する懸念)

- ⑩ もう一つは効率を考えた社会をつくっていかうということで、今日の資料の中にも、自己決定や自己責任や自己負担という言葉がありますが、経済中心主義の臭いが漂って仕方がない訳です。自立を指向する住民意識を育てると言いますが、支え合い関わり合いながら人は生きていますから、私は、そういう他者への働きかけを尊重するような論調が本当はいいのではないかなと思っていますので、その辺に違和感を感じています。
- ⑪ 道州制になった場合に一番心配しますのは、予算の問題でございまして、これを大学にあてはめると、かなり予算が削減されると考えております。それに伴っているような問題が起きてくるのですが、当面の問題としては、統合問題というのが起きてくるかと思っております。具体的には教育学部がまず俎上に上がると考えております。それから大分大学では、約4100人の学生が入学しております。平成22年度では県内学生の比率が41.4%、大分を除く九州圏内の学生が41.2%、九州圏外学生が17.4%となっておりますが、圏外学生の比率は一層低下すると。それから、道州立になった場合、県内の比率も低下していく。国立だから、県外から来ているという所もあります。それから県内学生の比率も下がるということもあるかと思っております。大学にとりましても、国立大学の場合は縮小化につながっていくという風に考えております。こういうことは大学だけではございまして、金融機関、経済機関、文化機関、大分銀行とか、大分合同新聞とか、地場で育った企業にも大きく影響を与えるのではないかと考えております。それで、県に権限を移譲していくべきではないかという風に思っております。
- ⑫ 基礎自治体の権限が増えれば、やれる事も増えるだろう。スピード感も出てくるだろうが、恐らく効率化という名のもとに職員が少なくなったり、予算がつかなくなったりということがあつたらうかと想像できます。そうすると、地域の方、私もそうなんです、地域の方や役場の方がやってくれていたことが、出来なくなるというような話になると、逆に道州制はいいことがあつたのか、というような気持ちを持つことがあると思うんです。

(行政の重層化に関する懸念)

- ⑬ 私も行政はあまり重ねない方がよいのではないかと感じました。今でも複雑なのにまだまだ複雑になっていくのはとてもやりにくいのではないかと。

【その他】

(理念等)

- ① 道州制になると地方が廃れていくという意見もあったのですが、地域に根ざしている一人ひとりの住民が輝いて、元気にならないと地方も九州自体も力強く光り輝いていかないと思うんですね。
- ② 道州制というのは突き詰めていくと、個人個人がいかにして自分の魅力をアピールして、自立して自分で生活していくか、と言うところじゃないかと個人的には思います。
- ③ 今回の道州制もお金のことが大きな問題の一つになって道州制の動きになっているかと思っていますが、そんなにお金が必要でしょうか。日田だけではなく日本全体が物質的な豊かさを追うのではなくて、精神的に豊かであれば、お金お金と言わなくても暮らして行けるのではないかと思います。国力が弱くても幸せに生活ができることの方が、大事ではないかという気がします。
- ④ 市場経済のものさしで社会を設計するのではなく、そのものさしに人と人とがつながる地域社会がどうあるべきかという目盛りも加えて、道州制のデメリットを克服して新しい社会を設計していただきたいですし、大分県もそういうことを考えながら、対応する準備をしていただきたいと思います。



(道州制に関する条件)

- ⑤ 一挙に道州制ということではなくて、県としての範囲も残しつつ、徐々に移行するのがよいのではないかと思います。
- ⑥ 市民サービス、行政サービスの面においては、州でなく県単位、今までどおりがいいんじゃないかなと感じています。
- ⑦ 大分のことを考えれば、州都を大分にとってこれないかという意見もあると思います。道州制を進めるのであれば、まずは大分県内で意思統一を図って、大分県がリーダーシップを発揮して九州をまとめていく位の話をしていかなければ、なかなか難しいのではないかと思います。
- ⑧ 道州制は大きな話ですが、デメリットばかりをあげていくときりがない。デメリットが生じた時にどう対処していくか、いい方向に持って行くということが大切ではないかと。そうすると必要な時間というのがありまして、決して急ぐべきではないと思いますし、かけるべき時間はかけるべきで、着実に進んでいくべきだと思っています。
- ⑨ 道州制で九州を一つにするとと言われてもピンと来ない住民が多いと思います。まずは、道路の整備をするとか、日田の方が言われたように中津日田道路の開通をもう少し早くして、企業誘致とか、他県の方との交流をしていくのがよいのではないかと考えています。
- ⑩ 道州制になったら州都を是非大分にしてもらって、人を呼んだらいいんじゃないかと思っています。空港から大分県庁まで1時間半かかるというように、九州の中で大分は交通の便が非常に悪いので、そういうところを整備してもらって、道州制を迎える基盤づくり、地域の基礎をしっかりとつくって、人を育てていけば何とかなるんじゃないかと思っています。
- ⑪ 九州を道州制にするのであれば、九州内の交流を密にしていけないといけないのではないかと思います。20年くらい前、私が学生時代に日中友好九州青年の船に参加させていただきました。九州8県の県費で、20代、30代の各県20名ずつ、3百数十名が、2週間ばかり、中国の方との交流を図りながら、九州の若者との交流を図りながら船泊もした思い出があります。予算の関係で10年くらい前になくなってしまったんですが、そういった小さいことだと思いますが、交流を図っていくことで、それぞれの地域地域の人となり勉強することで、次のステップに行けるというのものもあるんじゃないかなと

思います。市町村合併の時には、流利的に合併していったところも数多くあるのではないかと思います、数年経って少しこういうところを変えておけば良かったとかですね、この辺りをもう少し勉強しておけば良かったと感じているところがあると思いますので、そういった意見も入れながら前に進んでいけたらなと思います。

- ⑫ 道州になったら県を廃止しなくてはならないというのではなくて、もっと緩やかに、九州と各県と市町村との役割をもう一回洗い出す。道州ができたなら県は廃止というのではなくて、枠を取っ払った新しい方法が見つけられるのではないかと思います。
- ⑬ いざ実行するとなると、各省庁を地方に移譲するのであれば、どこにどういう風にセッティングするのか。地方分権にするのであれば、今の県単位でやってみて、本当に上手い具合にできるのかと。その後道州単位になるべきではないのかと思っております。
- ⑭ 西九州、東九州を考えると大分県は東九州で新幹線も通らない。陽があたり、平等で、地域住民がうまく自分達の生活に結びつけた動きがとれるような道州制ができたらいいなと考えています。
- ⑮ 過疎地に当然分が悪いということになります。過疎地におきましては福祉課題が多くありますので、せめて人的資源を投下してはいただけないだろうかということが一点目です。人的資源につきましては、県あるいは道州の公務員をゼネラリストからスペシャリストに転換していただくことが大事なのではないか、つまり、政策立案能力に加えてコンサル能力というものを持って住民に接していただければという気がしております。
- ⑯ やはりメリット、デメリットがあり、その中で今日会場から質問が出ましたが、一点は産業経済の方はやり方によっては随分可能性が出てくるのではないかと。九州全体をどんな分け方にするかはありますが、例えば、教育、学術文化、健康医療といろんなジャンルごとにゾーンをつくって、ゾーンを重ねながら、一つの目的に向かって歩み、急がずに早くできる所は、文化教育など大学と連携しながらやっていけば、かなり可能性に近づくのではないかと。
- ⑰ 一番大きいのは住民参画の機会が得られるか、透明性が保てるか、まず、自治への理解をもっと進めていくような形でなければ、どんなジャンルでやってもそこが引っかかってくるのではないかとということが心配されます。

(「地方分権」「地域主権」について)

- ⑱ 結論として道州制になってもいいというのは、簡単に道州制でよいということではありません。先に県があってもいいじゃないかという意見がありましたが、私は、国と地方の権限がどうあるべきなのか、そして財源はどうあるべきなのかということになると思います。ただ、今は国が全ての権限を持っていますから、私ども地方がいくら声を出してみたって簡単には届かない。行政そのものは縦割りですから動きもとれないし、日本が今のようになんもなくなりつつあるというのは国のあり方に問題がある、行政に問題があると思います。これをもう少しどうにかしなければならぬとなれば、権限と財源を分け合ってもう少し小さいところでやれることは小さいところの意見を聞いてやる必要があると思うんです。
- ⑲ 地方の声が本当に国に届いて、国から私たちがなるほどと思えることを言ってくれるには本当に何年もかかります。私は地域の土地改良区の仕事もしておりました。水路があつて、「これは国がつくったものだから国が何とかしてくれ。」と言つたつて、国は「そういう小さいところを出してあげられるお金はありません。」と言う。「じゃあ国の財産をどうするのか。」と言つたら、「国の財産だけれども地方がみてください。」と全くかみ合わない議論を5～6年ばかりやりました。そうした中で考えたらもう少し地域の中で考えた意見が届いてそれに反応してくれるような組織にならないと。それが県との間でできるような仕組みにしてくれれば私は小さいに越したことはないと思います。それは中々無理でしょうが、もう少し権限と財源を地方に渡して、地方の実状に合わせた行政をやるべきだと思っております。
- ⑳ 時代が変わっていく中で、行政はスピード感がないということです。どういうことかと言うと、私どもが地域でこれをこうやって欲しいと考えて国に行くと、国から「こういう法律になっておりますから。」と言われ、「じゃあ、法律を変えればいいじゃないですか。」と言うと、国から「法律を変えるのに、2年か3年かかります。」と言われたことがあります。
- ㉑ 小さければかゆい所に手が届くような行政がやれるけれども、大きくなればなかなかそれが出来ない。しかし、現状から考えてみた時に、じゃあどんな形ならば地域の住民が満足していただけるのかということになると、もう少し地域の考えがさらっとやれるようなスピード感がなければどうにもならないと思います。
- ㉒ 僕は地方地方にあつた対策というか、取り決めというものは絶対的に必要だと感じています。都市を形成するものは色々あつて、コミュニティだとか文化だとか資源だとか

産業だとか商業というものは、その都市の歴史からみても、他と絶対違う強みがあるので、細部にわたって地方にあった地方の資源を有効に活用する取り組み、取り決めが必要だと思います。

- ⑳ 国のルールにあわないからといって医療を受けられないことがないように、ルールにとらわれて医療を受けられないということがないように、そういうところは柔軟に対応していくことが大事ではないかと思います
- ㉑ 地域の施策には国の制約がかかっていることを知りまして、道州制によって地域のニーズにあった施策が取れるというのはよいことだと思います。ですが、大分では人口の格差やインフラの格差などがあるということで、そのような中で地域が自由な施策を行うということは、少子高齢化を逆に促してしまうことになるのではないかなと思います。
- ㉒ 地域やコミュニティが元気なところに住んでいれば、みんな何かそこでしたいと思うし、住みたいと思うし、残りたいと思うし、楽しみがあれば子供が産みたいと思うし、結婚したいと思うかもしれない。
- ㉓ 自分の業種でいろんな規制がある時に、中央で決められるとどうしても東京中心の規制等々でなかなか地方の中小企業ではやりづらいというような部分があります。やっぱり身近にある規制だとか分かる取り決めや仕組みなどがあるといいと思います。
- ㉔ 国が設定しているルールは、許容できる最低のルールだと思っているんですが、それでも先生方は少し厳しいと言っていたので、国のルールに全て従えとは言いませんが、地域で保育所の規定をつくってしまうと保育士の負担が増えたりだとか、女性の保育士が多い中、女性が仕事をする時間が増えてしまう。
- ㉕ 地方と国のルールが色々あると思いますが、地方に任せてしまってもうまくいけばいいんですが、夕張や阿久根のように失敗してしまう可能性もあると思うので、身近なことで国で統一してやることを見極めて考えていかなければならない、と思いました。

(道州制論議の前に議論すべき事)

- ⑳ 小異を大切にす、それぞれの地域の暮らしを大切にすることは何なのかということを考えながら、今後の地域づくりをしていかなければいけないのではないかと思っていますので、そういうところが道州制の議論の中で足りないのではないかと感じています。
- ㉑ 市町村の権限も増えるとの例が資料に出ていますが、本当に市町村が対応できるのかなあと思います。市町村の権限が拡大した時に、市によってはその権限を背景にした不正といったようなことが起こるのではないかということも考えられます。
- ㉒ 中津日田道路ができますと、お客が入ってくるというプラスだけを考えますが、実際どうなるかという、中津から福岡に出ていく方が多いのではないかという意見が多くて、日本の現状を考えると、道州制はしょうがない面がありますが、そういう面をきっちり考えていかなければならないと思います。
- ㉓ 受け皿となる基礎自治体づくりが進んでいないのではないかと思っています。例えば姫島村は2200人の島ですが、役場の皆さんが権限を持って治めることとなります。国は10万人規模の自治体を想像しているようですが、10万人単位という今後さらに市町村合併を進めていくのか、合併がよいのかという問題もあると思います。道州制の意義を共有していこうということでイメージをつくっていくことも良いのですが、そういうところも議論していかなければならないと考えています。
- ㉔ 道州制という大きなまとまりとなったら、大きな問題もたくさん出てくると思うので、地方分権、平成の大合併によって、何がよくなって何が悪かったのかというの、道州制の前に、見直す必要があるなと思っています。

(情報提供・議論喚起)

<必要性>

- ③④ これから先、道州制を国が言わずに地方だけが言ったって簡単には進まないけど、行政そのものを地域としてやっていくためには地域の住民が喜ぶ政治のあり方、行政のあり方は何かということを経験するような場所で真剣に考えて国に持って行く必要があるのではないかということを感じました。
- ③⑤ サービスの低下というのは本当に感じるのですが、私たちは行政に何をやってくれという訳ではなくて、自分たちがやっていこうという形で地域で色々やっております。今言われたように縦割りというのをいつも歯がゆく感じます。ここに言ってもこうなんだからこちらが出てこないと駄目なんだということもあって、縦と横が一緒ならどんなにいいのかなと、いつも役所とかに言います。それでも中々難しいです。道州制になる前に私たちの声が市に届いて、さらに県に届くまで中々時間がかかります。皆さんの議論と同感する反面、この辺りの議論はまだ上の方なんだと思います。
- ③⑥ 今日みたいに大分の学生と話し合える機会があまりなかったのも、こういう機会を増やしてどういふことをすれば住みやすくなるかとか、他の大学でどんなことをしているのか、県立芸術文化短期大学の方たちの取り組みも今日初めて知りましたし、そういうのを皆さんが知る機会があればと思いました。
- ③⑦ 道州制になるとどうしても自己責任とか自分たちの地域は自分たちで考えていかないとということが出てくるとは思いますが、情報が皆さんに伝わっているかといいますと、なかなか情報開示が難しいと思っていますので、責任というのであれば県・市町村がそういうところの情報開示をやっていただくのがよいと思います。
- ③⑧ デメリットをメリットに変える方法を考えないといけないと思います。市町村合併も準備されていたと思うんですが、見切り発車で、議論が市民レベルまで落とし込んでいたかというところ、そうでもなかったというところもあると思います。
- ③⑨ 地域の市民に話をおろして早め早めに声を拾って行って、その集約でまた、皆さんと議論できたらいいなと思います。
- ④⑩ いざ道州制がしかれたときにそのデメリットに対して、具体的に大分県としてこういう風にサポートしていくという、そういう話し合いも必要ではないかと思っています。

④① 多数意思が道州制不可避ということであれば、一人ひとりの地域住民として、こんなことをしないとイケない、今までは行政にお願いということも行政に人がいないということになれば国が担うとか、そういう所も出てこようかと、そういう所を担わなければならないんだということの自覚を持つという問題ですよね。そういう所も出てくるんだろうと思うので、どうなるんだというイメージを見せていただくと、より皆さんが議論に参加しやすくなるのではないかという風に考えました。

④② 道州制が実現した暁のビジョンがはっきり描かれていないと思います。道州制の論議をどういう風に今から生み出していくかということやはり自治への理解を深めるべきだと思っておりますし、インフラの整備が必要だと思っておりますし、住民参画の機会と透明性が絶対薄くなっていくのではないかと思います。そういう点をどう打開していくかということ論議の中に持ってきて欲しいと思います。

<手法>

④③ これから何度かこういう意見交換会を持つというのであれば、いきなり意見交換ではなくて、初回は1時間か2時間位の勉強会をしてもらって、道州制というものがどういうものかつかめてから、次の回で意見交換会を持つのがよいのではないのでしょうか。

④④ 九州という意味でいえば、九州観光推進機構もあるし、道路では昔から道守会議（みちもりかいぎ）というのがありますので、そういったところがこういう風にやってきているという資料が欲しい。